

東京帝國大學經濟學會

經濟論叢

第 三 號 第 十 六 卷

大 正 二 年 三 月 一 日 發 行

論 叢

サン・シモン派の社會改造哲學及び連帶思想

文學博士 米田庄太郎

加特力教の社會論者に就て

法學博士 田島 錦治

階級に就いて

文學博士 高田 保馬

基督教文明の發展概論

法學博士 財部 靜治

時 論

地 租 論

法學博士 小川郷太郎

小作調停法案に就て

法學博士 河田 嗣郎

說 苑

舊岡山藩の社倉法に就て

經濟學士 黒 正 巖

雜 錄

米國研究の必要

法學士 本庄榮治郎

性別年齢別失業統計

經濟學士 岡崎 文規

アダム・スミス生誕二百年

法學士 本庄榮治郎

性別年齡別失業統計

岡崎 文規

は此の方面の寂寞を破るに足るべき Morley の本研究を非常に興味深く讀んだから、その概要を左に紹介することとする。

最近 F. Morley が Economic Journal (December, '22) 誌上に於て、The Incidence of Unemployment by Age and Sex なる論題で、失業の性別年齡別による精細なる統計的研究を發表してゐる。從來、失業の年齡別による科學的研究は絶えてなく、不景氣が長引くと失業の災禍は先づ年少者と老年者の頭上に降りかゝつて來るだらうと云ふ、極めて常識的な推斷で満足して來たのである。殊に失業の性別研究などは殆んど全く考へられもしなかつたのである。私

それは千九百二十二年二月、Great Britain 及び Southern Ireland の職業紹介所に於て、失業補助金を要求せる失業者を年齡、性及び配偶關係別に分類したものである。少年少女は除外し之を十八歳以上の者に限り、男子は一、三八九、六七三、女子は二九二、二六三、合計一、六八一、九三六の内、分類が不可能である四六、九四二を除去し、結局一、六三四、九九四即ち總數の九七・二%がその研究材料である。

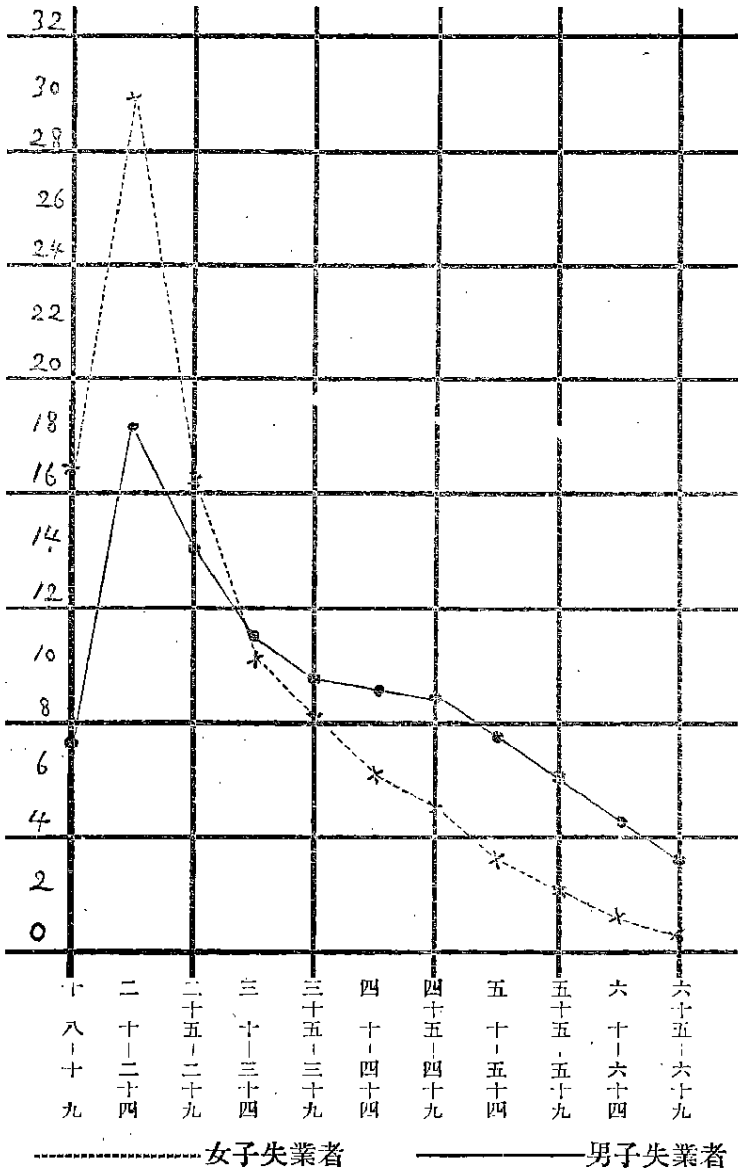
左の第一表は性別年齡別失業統計である。

第一表 性別年齡別失業統計 (千二百二十二年二月七日)

年 齡	實數	比率	實數	比率	實數	比率	實數	比率	實數	比率
九	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
十	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
十一	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
十二	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
十三	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
十四	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
十五	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
十六	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
十七	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
十八	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
十九	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
二十	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
二十以上	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000
合計	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000	九	0.000

雜錄 性別年齡別失業統計

第十六卷 (第三號一五三) 五七七



第一表に就いて見ると、失業危険は男女共、各年齢級に應じて異動がある。また同年年齢に於ても男女の間に大なる不同がある。即ち最初の三年年齢級二十九歳迄は女子の失業危険常に男子のそれを超え、それ以上の年齢級に於ては全く反對の傾向を示してゐる。女子の失業危険は若き年齢級に於て非常に高く、老年年齢級に於て激減してゐるが、男子の失業危険は各年齢級に平均せられてゐるから、比較的に高低が甚しくない。

第一圖表はこれ等の現象を明示してゐる。或る年齢に於ける實際の失業率を知る爲めには、其の年齢に於ける失業者數と勞働人口(就業者及び失業者の合計)の總數との比率を見る必要がある。千九百二十一年の英國々勢調査報告書には年齢別勞働人口統計がないのである。乍併、勞働人口の年齢分布は千九百十一年と千九百二十一年と余り大差がなからうと言ふ假定に基いて、左の第二表失業分布及び勞働人口分布統計を作成したのである。

第二表 失業分布(千九百二十二年二月)及び勞働人口分布(千九百十一年)

年齢	有婦の夫		獨身男		合計	
	實數	率	實數	率	實數	率
十九以下	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
二十	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
二十一	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
二十二	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
二十三	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
二十四	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
二十五	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
二十六	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
二十七	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
二十八	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
二十九	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
三十	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
三十一	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
三十二	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
三十三	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
三十四	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
三十五	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
三十六	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
三十七	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
三十八	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
三十九	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
四十	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
四十一	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
四十二	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
四十三	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
四十四	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
四十五	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
四十六	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
四十七	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
四十八	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
四十九	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
五十	1,000	1.00%	1,000	1.00%	2,000	2.00%
合計	100,000	100.00%	100,000	100.00%	200,000	200.00%

有夫の婦	實		實	實	實	實	實	實	實	
	比	率								
勞働人口比率	17	1.2%	17	1.2%	17	1.2%	17	1.2%	17	
實數	1,213		1,213		1,213		1,213		1,213	
獨身女	實		實		實		實		實	
勞働人口比率	13	1.2%	13	1.2%	13	1.2%	13	1.2%	13	
實數	1,011		1,011		1,011		1,011		1,011	
合計	實		實		實		實		實	
勞働人口比率	10	1.2%	10	1.2%	10	1.2%	10	1.2%	10	
實數	1,213		1,213		1,213		1,213		1,213	
男女總計	實		實		實		實		實	
勞働人口比率	20	1.0%	20	1.0%	20	1.0%	20	1.0%	20	
實數	1,213		1,213		1,213		1,213		1,213	

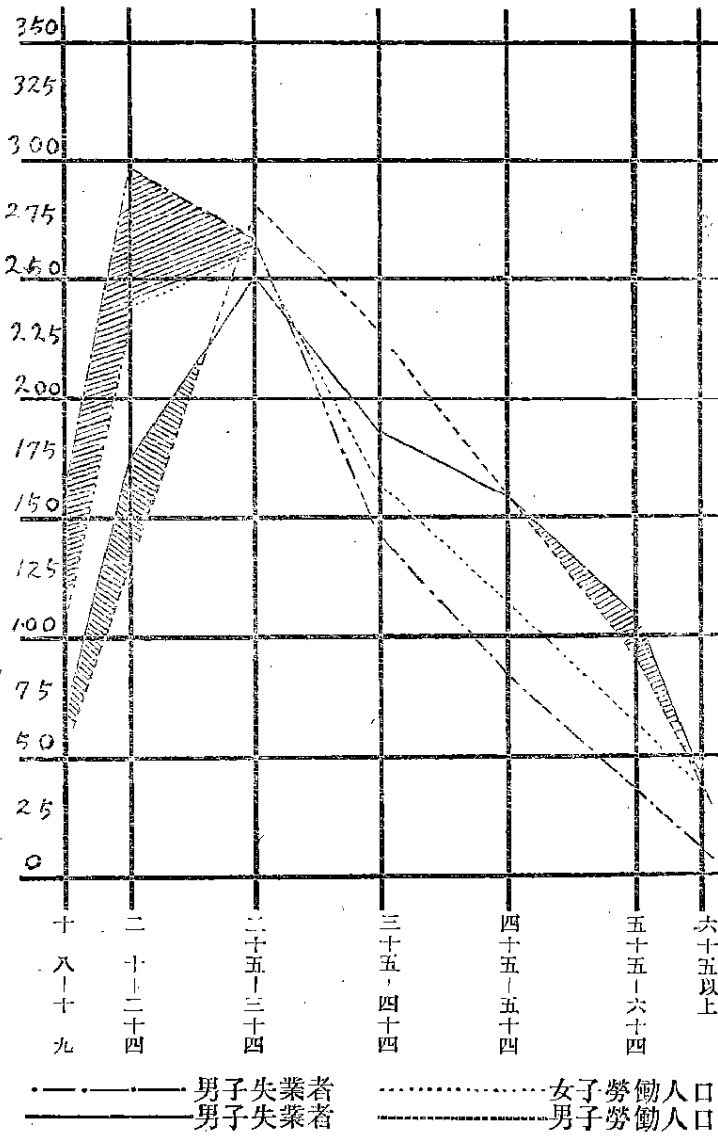
第二表に就いて見ると、同年齡級に於ても、失業率は男女の性を異にするに従つて差異がある。年齡級別による失業者の比率と勞働人口の比率を比較するに、女子にありては、最初の二年齡級に於て、失業者の比率は勞働人口の比率を超過してゐる。第三年齡級に於ても多少超過し、それ以上の年齡級に於ては全く反對の現象を示してゐる。男子にありても、最初の二年齡級に於て高く、二十五—四十四は低く、次の二年齡級は高く、最後に又低い。

第二表から失業率の偏差を算出したものが左の第三表である。

第三表 失業率の偏差

年	男	女
十九	13	15
二十	10	10
二十一	11	11
二十二	12	12
二十三	13	13
二十四	14	14
二十五	15	15
二十六	16	16
二十七	17	17
二十八	18	18
二十九	19	19
三十	20	20
三十一	21	21
三十二	22	22
三十三	23	23
三十四	24	24
三十五	25	25
三十六	26	26
三十七	27	27
三十八	28	28
三十九	29	29
四十	30	30
四十一	31	31
四十二	32	32
四十三	33	33
四十四	34	34
四十五	35	35
四十六	36	36
四十七	37	37
四十八	38	38
四十九	39	39
五十	40	40

第三表によれば、失業率は若き年齡級に於て高く、女子の場合に殊に著しく現はれてゐる。



配偶状態による失業率を見ると、有配偶者は若き年齢級に於て失業率が高い。即ち有婦の夫の場合には、二十一—二十四の年齢級に於ける失業率(六七)は労働人口の比率(三二六)の約二倍である。有夫の婦の場合には、同年齡級の失業率(二六八)は労働人口の比率(五二)の三倍以上に達してゐる。獨身者の場合には、これ等の關係が有配偶者の場合ほど著しくはない。又、之を性別のみより見る時は、男子の失業率は女子の失業率よりも高い。即ち左の如し。

	男子	女子	合計
被保險者	七・二%	三・八%	一〇・〇%
補助金要求者	八・五%	一七・五%	一〇〇・〇%

右の第二圖表は性別年齢別による失業分布及び労働人口分布を示すものである。陰影のある部分は失業率の労働人口の比率に對するプラスの偏差を明らかにしたものである。

以上論ずる所を要約すれば、

- 一、失業危険は年齢級を異にするに従つて異動がある。
- 二、同年齡級に於ても、男女の性を異にする

に従つて、失業危険に異動がある。

三、男子に於ける失業の最高危険率は最若年齢級、最高年齢級に於てではなく、二十五六歳に於て之を見る。

四、女子に於ける失業の最高危険率は二十一—三十に於て之を見る。

五、全年齡を通じて之を観察する時は、女子よりも男子に於て失業率高し。